

## 論文問題冊子

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、2題で90分です。試験問題1～6のうち、2題を選択してください。
3. 経営システム科学分野の指導教員を第1希望とする場合は、問題3, 4(経営システム科学分野)の中から1題は選択してください。
4. 会計学分野の指導教員を第1希望とする場合は、問題5, 6(会計学分野)の中から1題は選択してください。
5. 試験問題についての質問は、受けつけません。
6. 試験開始後ただちに解答用紙の中の受験番号記入欄に受験番号と氏名、問題番号記入欄に問題番号を誤記のないように記入してください。受験番号や氏名、問題番号が記入されていないと、その解答用紙の成績が0点になる場合があります。
7. 解答用紙1枚につき、1題解答してください。1枚の解答用紙に複数の問題を解答した場合、無効になる場合があります。また、解答用紙には裏面もありますが、1題につき、解答用紙1枚で収めるようにしてください。
8. 解答は、日本語で行ってください。
9. 問題冊子・解答用紙に汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 1

---

問1 オペレーション・マネジメントは何かを説明しなさい。

問2 オペレーション・マネジメントのアプローチや手法について述べなさい。

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学      問題番号 2

---

組織のグローバル化に関する次の問いに答えなさい。

- (1) 組織がグローバル化する際に、多額の海外投資が伴う手法の代表例を一つ取り上げて、その特徴を説明しなさい。
- (2) 多国籍企業 (MNC: multinational corporation) の形態について代表的なものを二つ取り上げて、その特徴を説明しなさい。

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム 問題番号 3

---

ある企業が、月間の広告宣伝費（変数  $X$ ）と新規契約数（変数  $Y$ ）の関係を分析したところ、以下の統計値が得られた。

広告宣伝費の平均: 50  
新規契約数の平均: 80  
広告宣伝費の分散: 100  
新規契約数の分散: 400  
広告宣伝費と新規契約数の共分散: 160

この統計値を用いて、以下の小問に答えよ。計算過程も示すこと。

- 問1. 相関係数  $r$  を計算し、その値が何を示すか簡潔に説明せよ。
- 問2. 回帰式  $Y=a+bX$  の回帰係数（傾き） $b$  と切片  $a$  を計算し、それぞれの値が何を示すか簡潔に説明せよ。
- 問3. 決定係数  $R^2$  を計算し、その値が何を示すか簡潔に説明せよ。

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 4

---

次の(1)から(6)の中から4つを選び、それらについて簡潔に説明せよ。

- (1) 確率変数の期待値
- (2) 中心極限定理
- (3) 信頼区間
- (4) 最小2乗法
- (5) 分散分析における交互作用効果
- (6) 回帰分析におけるダミー変数の役割

# 2026年度

## 横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 5

以下の表は、YNU 社の期首と期末の貸借対照表と当期の損益計算書に関するすべての情報をまとめたものである。なお、同社は日本の会計基準に準拠して財務諸表を作成しており、金額の単位は百万円である。

	損益計算書		貸借対照表	
	当期		期首	期末
売上高	1,000	現金	2,000	②
売上原価	800	売掛金	—	100
減価償却費	50	商品	—	200
当期純利益	①	備品	—	450
		借入金	—	400
		資本金	2,000	2,000
		利益剰余金	—	①

- (1) 上表の①と②に入る金額を答えなさい。計算過程も示すこと。
- (2) YNU 社の当期の営業活動によるキャッシュ・フロー合計を間接法で求める場合の計算構造を示しなさい。
- (3) YNU 社の当期のキャッシュ・フロー計算書のうち、以下の金額を答えなさい。計算過程も示すこと。
  - ① 営業活動によるキャッシュ・フロー合計
  - ② 投資活動によるキャッシュ・フロー合計
  - ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー合計
- (4) キャッシュ・フロー計算書を作成・開示する意義を述べなさい。
- (5) キャッシュ・フロー計算書の利子および配当の区分方法として、現行制度上は2つの方法が認められている。これらの方法を示したうえで、それぞれの方法によってもたらされるキャッシュ・フロー情報の特徴について述べなさい。

以上

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 6

---

営業量の変化に応じて、原価は変動費と固定費に分類することができる。変動費と固定費のそれぞれについて、グラフと具体例を用いて説明しなさい。